

株主の みなさまへ

第68期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

医療界に信頼され
選ばれる企業をめざす
品質・サービスNo.1へ

 株式会社ビー・エム・エル

証券コード：4694





医療界に信頼され
選ばれる企業をめざす

目次

- P1 財務ハイライト
- P2 株主のみなさまへ
- P3 営業の概況
- P5 連結決算の概要
- P7 特集
- P9 株式の状況
- P10 会社概要

株主のみなさまへ



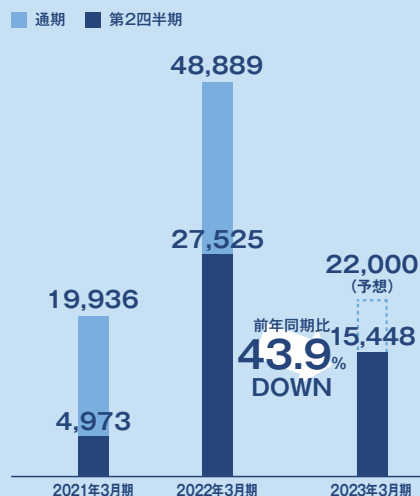
平素は、格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに、第68期中間報告書
(2022年4月1日～
2022年9月30日)を
お届けするにあたり、
ご挨拶申し上げます。

財務ハイライト

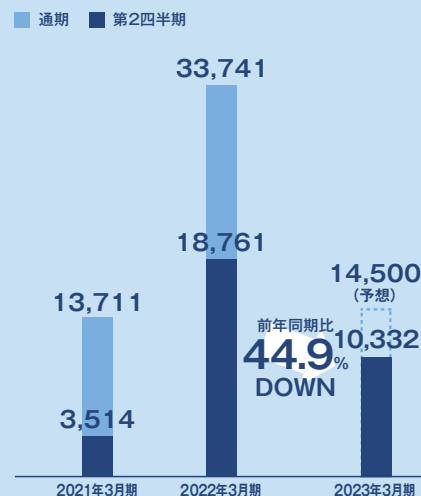
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあり景気に緩やかな持ち直しの動きが見られます。しかしながら、世界的な金融引締めを背景とする海外景気の下振れ懸念や、円安によるエネルギー及び原材料費の上昇等、先行きは依然として不透明な状況です。

このような経済環境のもと、受託臨床検査業界におきましては、診療報酬改定の影響に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い医療機関を受診する患者数が弱含みで推移しております。また、同業他社との競争も続いており、事業環境としては引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高83,712百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益15,448百万円（前年同期比43.9%減）、経常利益15,572百万円


（前年同期比45.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,332百万円（前年同期比44.9%減）となりました。当社グループにおきましては、既存検査の受託数は増加したものの、新型コロナウイルス関連検査の診療報酬引き下げの影響により売上高及び利益ともに減少しました。

2022年度は、9カ年計画で進めてきました中期経営計画である第8次中期経営計画（2021年度～2023年度）の2年目となります。グループビジョンである「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」の飛躍期と位置づけており、第6次中期経営計画から取り組んでまいりました品質・サービスの向上をより一層推し進めてまいります。

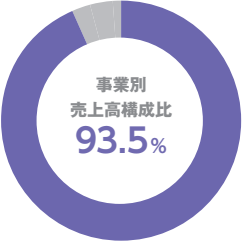
株主のみなさまには、一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 近藤 健介

営業の概況



臨床検査事業



事業別
売上高構成比
93.5%

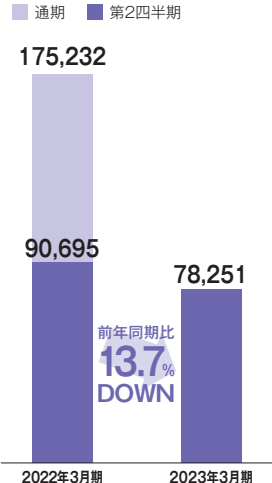
事業内容

- **臨床検査** ルーチンから特殊検査まで
- **治験検査** 4,000項目を超える検査を実施しています。

業績
連結
売上高

78,251

 百万円



期間	売上高 (百万円)	前年同期比
2022年3月期	175,232	-
2023年3月期	78,251	13.7% DOWN

新規獲得を図るとともに、既存ユーザーに対する新規検査項目・独自検査項目・重点検査項目拡販などの深耕営業を実施することで業績の拡大を図りました。しかしながら、新型コロナウイルス関連検査の診療報酬引き下げの影響が大きく、臨床検査事業の売上高は前年同期比13.7%の減収となりました。



食品検査事業



事業別
売上高構成比
2.6%

事業内容

- **食品コンサルティング** 食環境の総合的な衛生管理、消費者の健康と食の安全を支援しています。
- **食品、環境検査**
- **腸内細菌検査**

業績
連結
売上高


2,190

 百万円




期間	売上高 (百万円)	前年同期比
2022年3月期	4,519	-
2023年3月期	2,190	7.7% UP

政府による行動制限の解除に伴い取引先の営業制限が緩和されたことで、食品コンサルティング・微生物検査等の食品検査が持ち直しました。これらにより、売上高は前年同期比7.7%の増収となりました。



医療情報システム事業



事業別
売上高構成比
3.0%

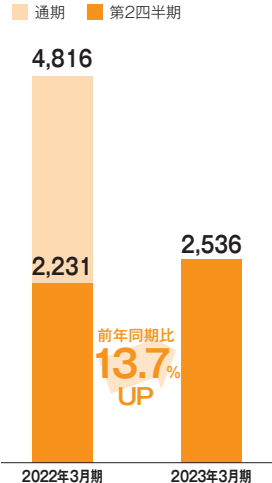
事業内容

- **電子カルテシステム** 診療所版電子カルテシステム「Qualis Cloud」、 「Qualis」及び「Medical Station」の販売・保守を行っています。
- 開発・販売
- 保守サービス

業績
連結
売上高


2,536

 百万円

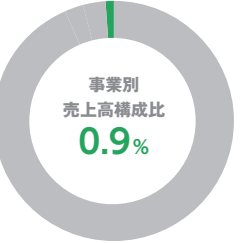


期間	売上高 (百万円)	前年同期比
2022年3月期	4,816	-
2023年3月期	2,536	13.7% UP

2022年4月にリリースしたクラウド版電子カルテの販売が計画通りに進捗しており、保守売上も堅調に推移しています。さらにオンライン資格確認の受注が好調なことから、前年同期比13.7%の増収となりました。



その他事業



事業別
売上高構成比
0.9%

事業内容

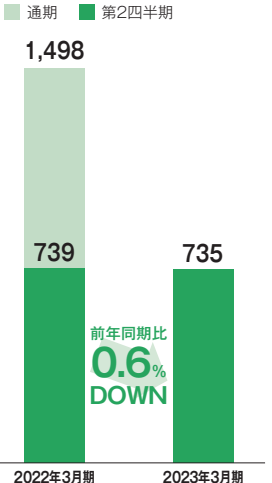
- **調剤薬局** 調剤薬局事業と高精度検査で医薬品開発をサポートしています。
- **SMO**

※ SMO: 特定の医療機関（治験実施施設）と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関。

業績
連結
売上高

735

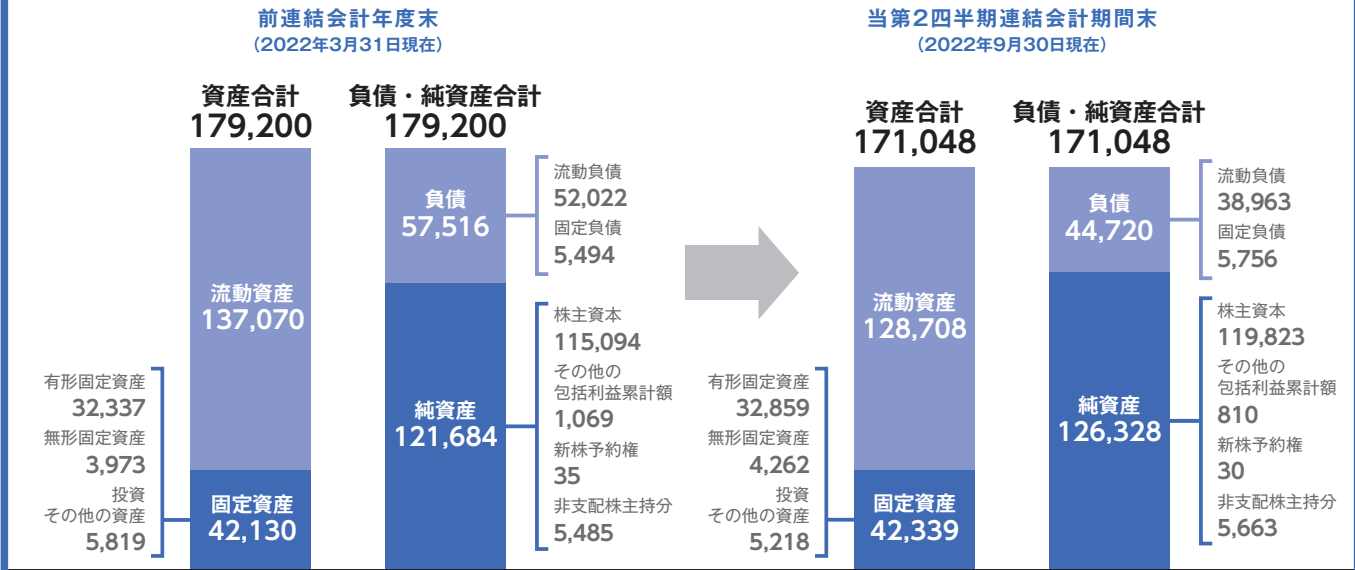
 百万円



期間	売上高 (百万円)	前年同期比
2022年3月期	1,498	-
2023年3月期	735	0.6% DOWN

調剤薬局事業における診療報酬（薬価）引き下げの影響により、前年同期比0.6%の減収となりました。

連結貸借対照表の概要 (百万円)



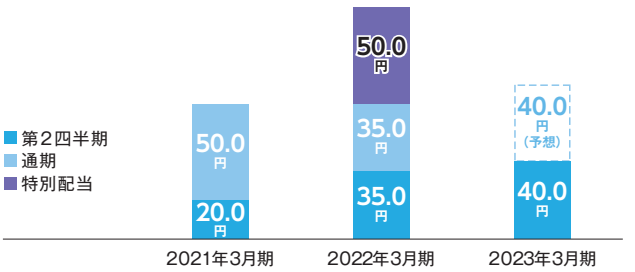
POINT! 資産
流動資産で現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したこと等により、171,048百万円（前期末比8,152百万円減）となりました。

POINT! 負債
未払法人税等が減少したこと等により、44,720百万円（前期末比12,796百万円減）となりました。

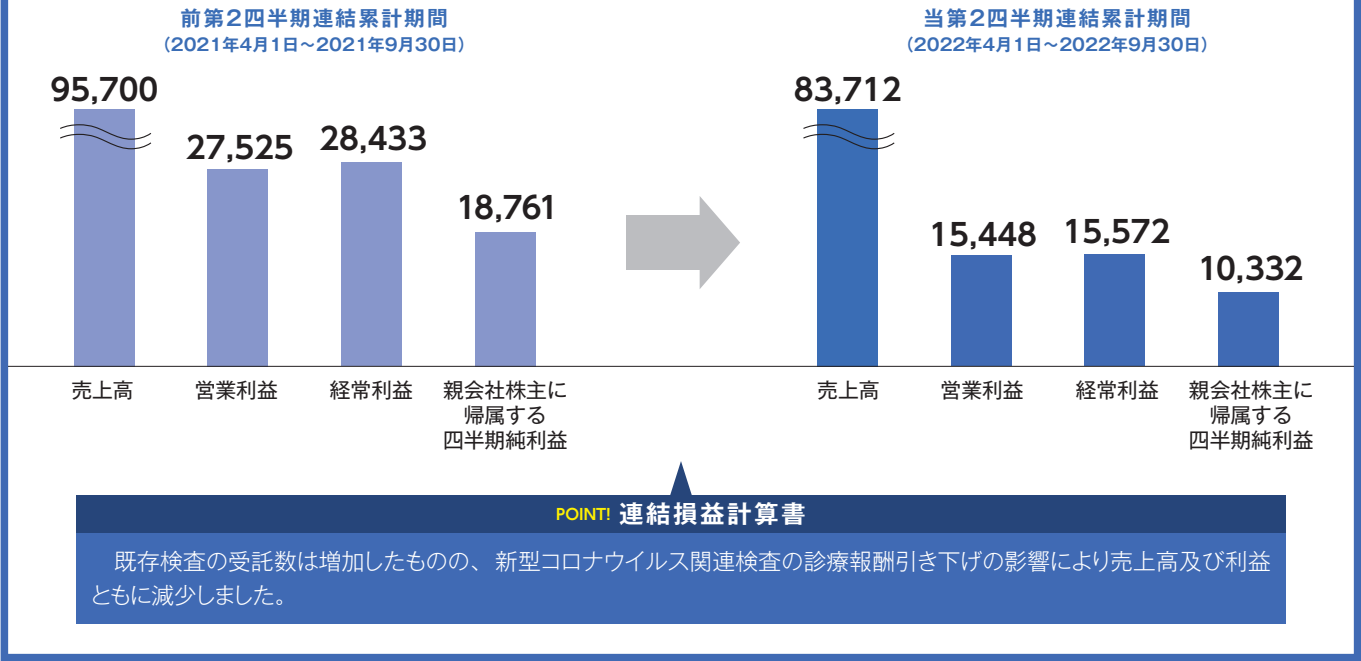
POINT! 純資産
利益剰余金が増加したこと等により、126,328百万円（前期末比4,643百万円増）となりました。

配当について

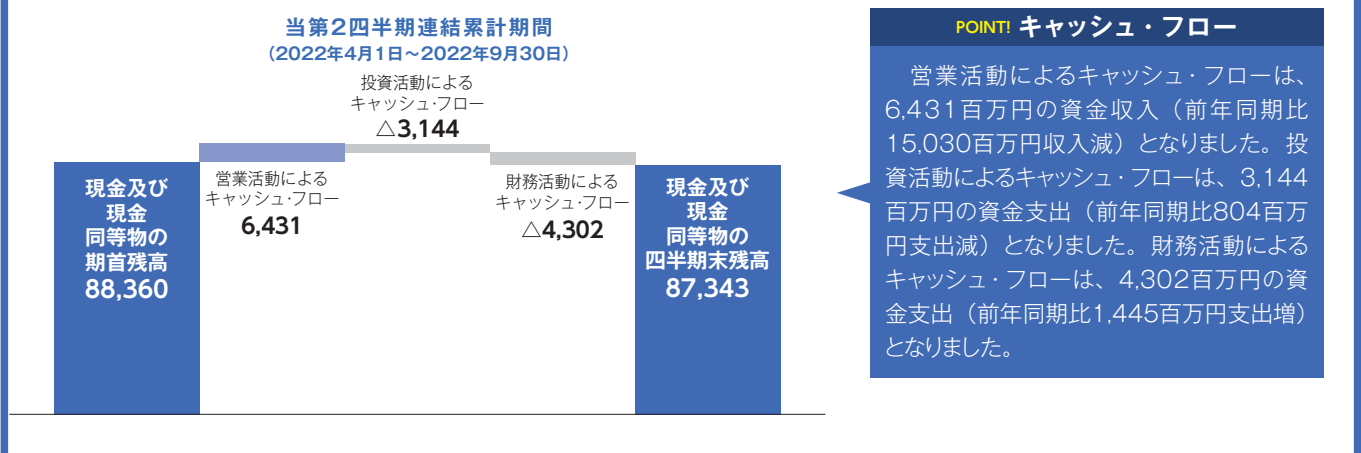
当社グループは、株主さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、安定的な経営基盤の確保と資本利益率の向上に努めるとともに、配当については安定配当の維持・継続を基本方針としつつ、連結業績に応じた配当水準の向上に努めております。なお、当期の中間配当は40円とし、期末配当の40円と合わせて年間では、1株当たり80円の配当となります。



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



当社の連結対象会社の中から、今回は治験実施医療機関支援業務（SMO業務）を行っているアレグロをご紹介します。



アレグロは、東京都渋谷区千駄ヶ谷のBML本社内に事業所を構えています。

アレグロは、当社が100%出資する持株会社である㈱BMLライフサイエンス・ホールディングスを親会社とし、治験実施医療機関支援業務（SMO業務）を行っております。

特に泌尿器科、麻酔科（ペインクリニック）及び内分泌代謝科（糖尿病）の領域で多くの実績を重ね、信頼を得てまいりました。臨床試験は国際化が進み、品質や効率化の要求が高まっておりますが、アレグロの経験豊かなCRC（治験コーディネーター）により治験実施医療機関のご負担が軽減されるようにコーディネートしております。

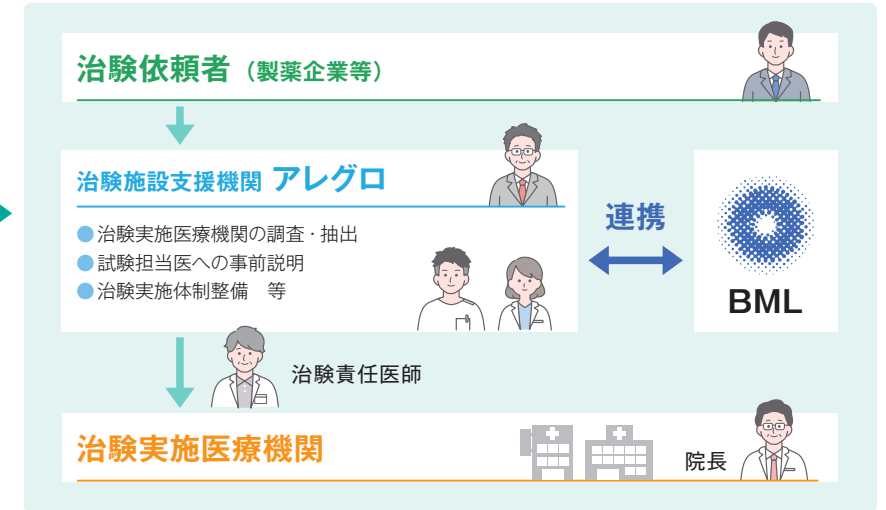
臨床試験データの信頼性を確保するための体制を構築するとともに、社内外の教育研修によりCRCの知識・スキルのさらなる向上に努め、医薬品開発における高品質なサービスの提供を通じて医療の発展と人々の健康づくりに貢献してまいります。

特長

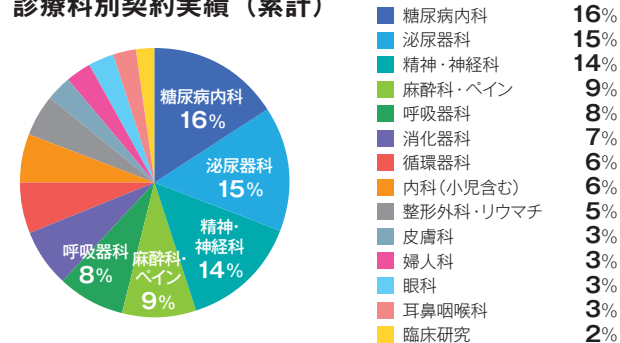
当社が医療機関との間に構築した国内最大のネットワークを活用して、臨床試験実施に必要な医療機関を治験依頼者の皆様へご提案いたします。また同時に治験実施体制の整備を行い、高品質な支援業務をご提供いたします。現在は関東エリアの医療機関を中心に経験豊富なCRCが臨床試験を適切に支援しております。

薬が承認されるまで

1. 基礎研究
2. 非臨床試験
3. 臨床試験「治験」
4. 国への承認申請
5. 薬の承認
6. 製造販売後調査



診療科別契約実績（累計）



経営理念

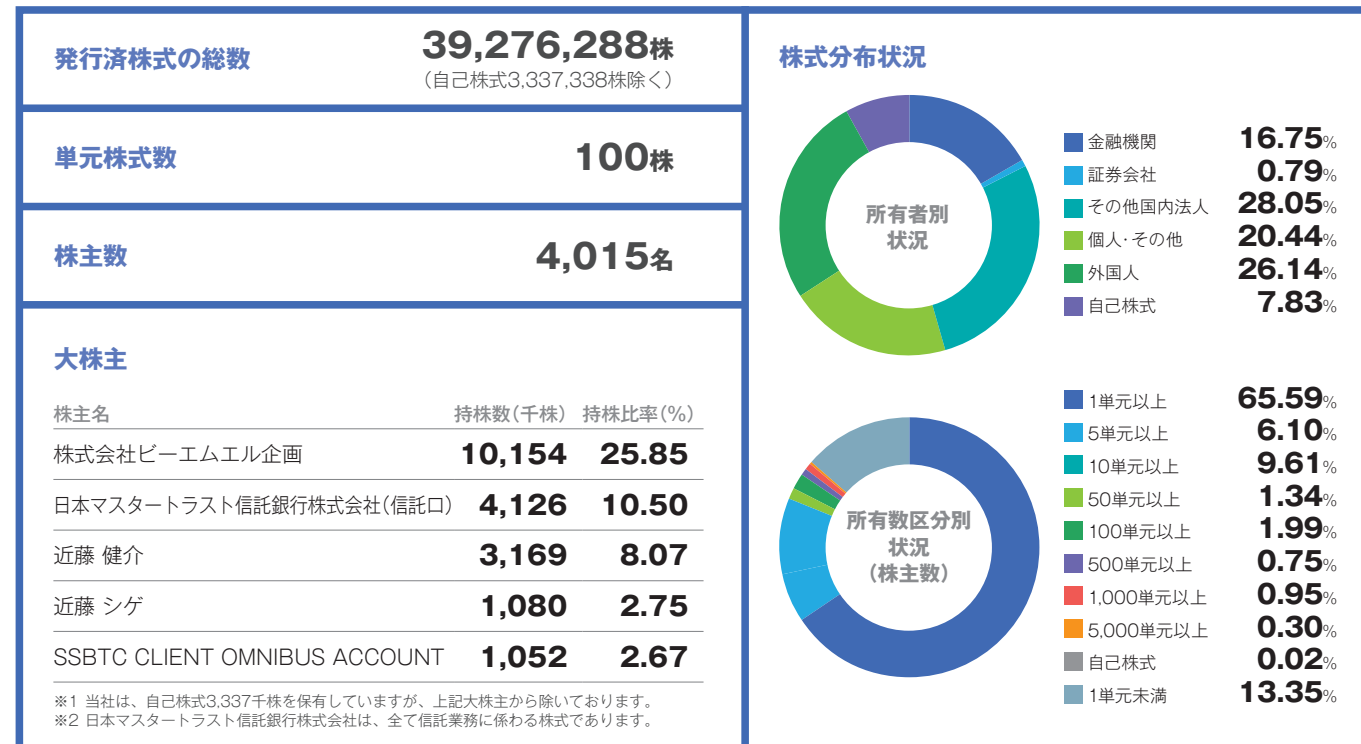
医療の発展と人々の健康づくりに貢献する

会社概要

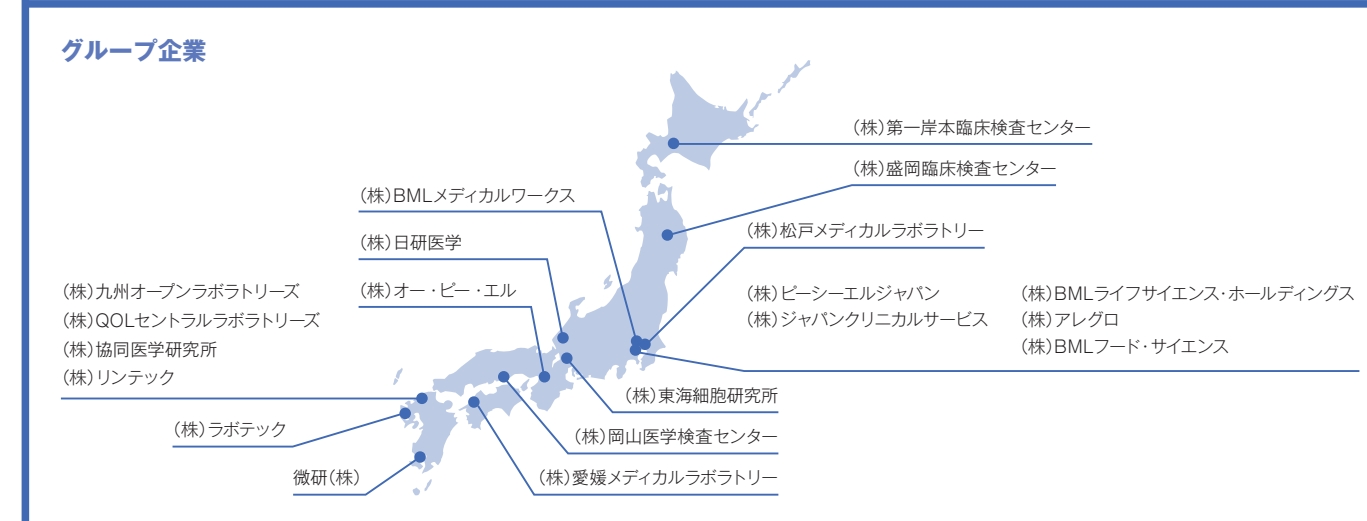
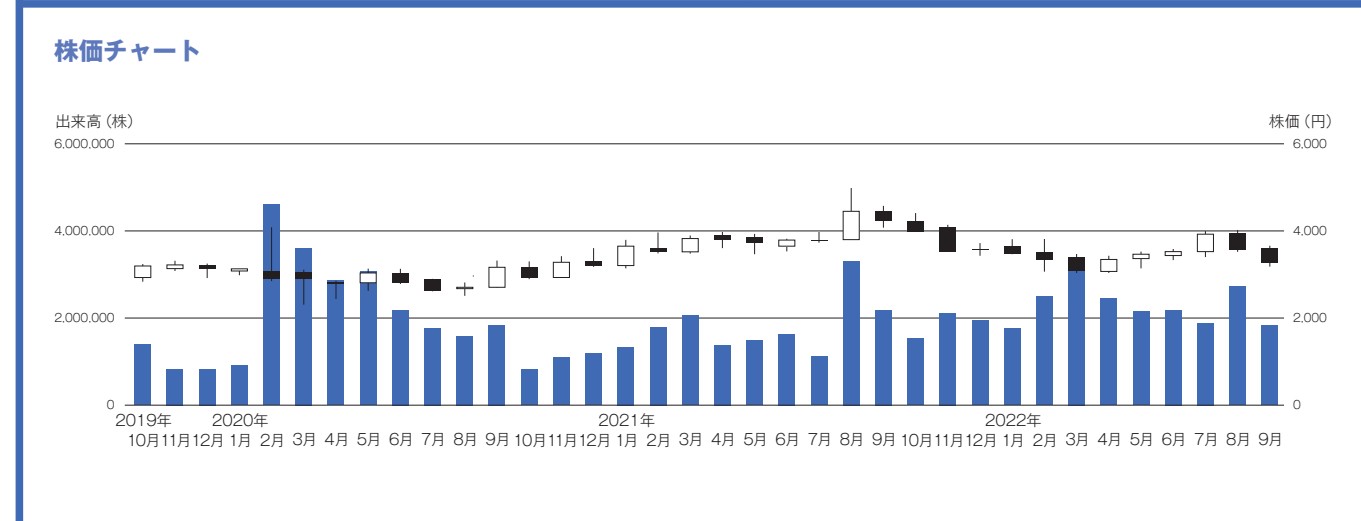
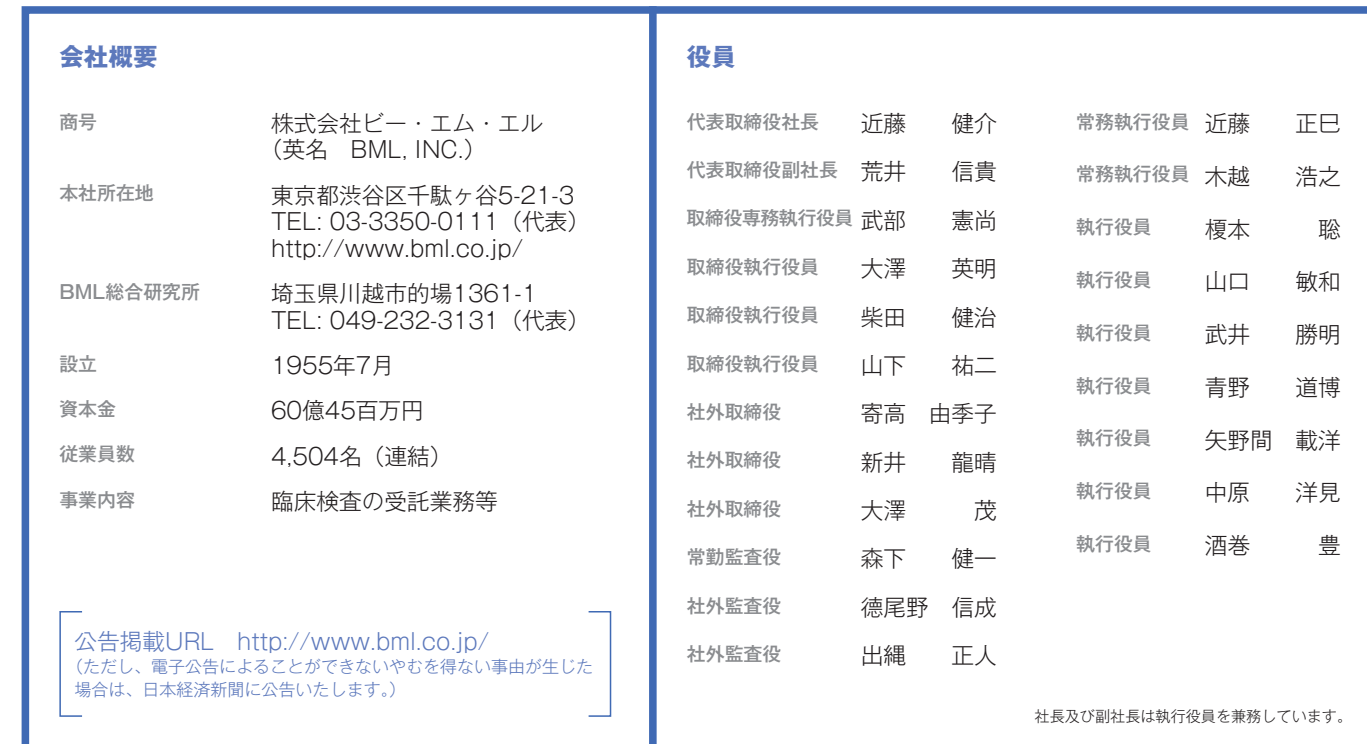
設立：1998年
 売上高：8,762万円
 （2021年度）

資本金：3,000万円
 従業員数：14名
 （2021年度末）

株式の状況 (2022年9月30日現在)



会社概要 (2022年9月30日現在)



安全性試験課

医薬品、食品添加物、化粧品、洗剤、プラスチック、インク、接着剤やその原料などの様々な化学物質について、新たに製造・輸入・輸出される前に、ヒトの健康や環境中の生物に対する有害性の有無を検査しています。



▲細菌を用いる復帰突然変異試験



▲ほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験



▲正常な染色体像



▲異常ありの染色体像

こんな検査をやってます!!

- 細菌を用いる
復帰突然変異試験
(化学物質が、DNAに突然
変異を起こすかどうかの試験)
- ほ乳類培養細胞を用いる
染色体異常試験
(化学物質が、染色体に異常
を起こすかどうかの試験)

株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会権利行使株主確定 3月31日
株主配当金受領株主確定 3月31日
中間配当金受領株主確定 9月30日

株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
(〒103-8202)
株式会社手続き用紙のご請求をインターネット
でもお受け付けいたしております。
URL <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

各種手続のお申出先

未払配当金のお支払い

株主名簿管理人*

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等

〈証券会社をご利用の場合〉

お取引のある証券会社

〈証券会社をご利用でない場合〉

特別口座の口座管理機関である
日本証券代行株式会社*

* 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店でも行っております。

(電話お問合せ・郵便物送付先)

日本証券代行株式会社
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8620)
0120-707-843 (フリーダイヤル)